

コース名	チームで成果をあげるマネジメント術 メンバーの力と自律性を引き出し「やる気」に導く				
研修のねらい	管理者には、絶えず成果を出していくことが求められます。そのためには、自分のチームメンバー一人ひとりのやる気を高めて、ありったけのチーム力を引き出す働きかけをする必要があります。 本研修では、チームのメンバーが相互に認め合い、所期の業績目標を達成するために必要なチームの作り方について講義と演習を交えて学び、自社のチームで実践する行動計画を作成します。				
研修の特長	・成果を出すチームづくりに求められるリーダーの在り方と行動について、講義と演習を組み合わせで学びます。 ・チームメンバーの力の引き出し方をロールプレイを交えて学び、受講者相互の気づきを共有します。 ・自社の職場ですぐに実行できる行動計画書を作成します。 ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.25 信頼でつながり助け合う職場づくり」 2026年12月3日(木曜)～2026年12月4日(金曜)〈2日間〉 ・「No.26 チーム力を引出す！リーダーシップ強化研修」 2026年12月15日(火曜)～2026年12月17日(木曜)〈3日間〉 ・「No.28 本質を見極める！問題解決の進め方」 2027年2月3日(水曜)～2027年2月5日(金曜)〈3日間〉				
研修期間	2027年1月13日（水曜）～ 1月15日（金曜） 〈3日間〉				
対象者	管理者、新任管理者層 ・チームの生産性向上を考えている方 ・効果的な動機付けを図り、チームの士気を高めたい方 ・チームを活性化させて目標を達成したい方	定員	30 名	受講料	32,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
1/13 (水)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時40分～17時40分 (昼休 12時20分～13時20分)	チームを活性化させる管理者の役割と行動	目標達成に必要なチームの構成要因への理解を深めた上で、管理者としての役割と行動について学びます。 ■なぜ今チームマネジメントなのか ・チームと集団の違いは何か。 ・マネジメントの時代的変遷。 ・心理的安全性を引き上げる。 ・なぜ、今チームで仕事をするのが求められるのか。 ■チームマネジメントのためのリーダーシップとその役割 ・人的資本、社会関係資本、心理的資本の基本的理解 ・共通目的の成立の為に何をなすべきか。	溝井 伸彰 溝井&パートナー経営コンサルティング事務所 代表
1/14 (木)	9時20分～17時20分 (昼休 12時20分～13時20分)	チームマネジメントの実践的な手法（演習）	組織の成果をあげるための働きを理解するとともに、チームマネジメントを実践するコツを演習を交えて学びます。 ■ 人的資本経営を支える心理的資本を知り、開発する。 ・なぜ今心理的資本開発が重要なのか。 ・ワークエンゲージメントと心理的資本の関係と心理的資本の4要素 ■ チームマネジメントを強化するためのツール ・チームマネジメントを実現するための良い点、強み探しから始める組織開発の手法	
1/15 (金)	9時20分～16時20分 (昼休 12時20分～13時20分)			
	16時20分～17時20分	チームマネジメントのための行動計画づくり（演習）	自社・自部門のワークエンゲージメントと心理的資本の関係から、行動計画づくりを実施します。	
	17時20分～17時30分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

※研修初日終了後から交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
溝井 伸彰 (みぞい のぶあき) 溝井 & パートナー経営コンサルティング事務所 代表	中小機構アドバイザー。中小企業診断士・公認心理師・日本人生哲学心理学会監事。広告会社などを経て、株式会社ティビーシーでコンサルティング事業部長に就任。1999年に独立。戦略経営、新規事業開発、ワークエンゲージメント開発を中心にした組織開発を中心に、製造業・卸売業・サービス業など幅広い業種の中小企業、起業家にコンサルテーションを行っている。中小企業大学校のほか、東京電機大学、産業能率大学などでも指導。「ドラッカーマネジメントを実践する会」を主宰。